

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-142	23-055	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Alcohol use, alcohol use disorder and heavy episodic drinking in the Eastern Mediterranean region: A systematic review 中東地域における飲酒、アルコール依存、大量機会飲酒についての系統的レビュー		
執筆者		
Rostam-Abadi Y, Gholami J, Shadloo B, Mohammad Aghaei A, Mardaneh Jobehdar M, Ardeshir M, Sangchooli A, Amin-Esmaeili M, Taj M, Saeed K, Rahimi-Movaghar A.		
掲載誌		
Addiction. 2024 Jun;119(6):984-997. doi: 10.1111/add.16444.		
キーワード	PMID	
中東、飲酒、アルコール依存症、大量機会飲酒、系統的レビュー	38356084	
要旨		
<p><b>目的:</b> 中東地域における飲酒、アルコール依存、大量機会飲酒、薬物使用の状況を系統的レビューにより明らかにする。</p> <p><b>方法:</b> 中東地域 22 か国 における飲酒と薬物使用に関する 2023 年 9 月までの公開論文を PubMed, Scopus, Web of Science, Embase, Index Medicus for the Eastern Mediterranean countries で検索し、サンプル数 100 以上の研究、合計 148 研究について、検討した。</p> <p><b>結果:</b> 中東地域の飲酒率(95%信頼区間)は男性 9.5%(6.4-13.7)、女性 2.8%(1.3-5.5)であった。アルコール依存症や大量機会飲酒についてのメタアナリシスは不可能であった。薬物使用治療中の者における飲酒率は 16.9%(8.8-26.9)であった。</p> <p><b>結論:</b> 中東地域においても飲酒率は過去の報告 2.9%より 2 倍以上増加していることが明らかとなった。</p>		